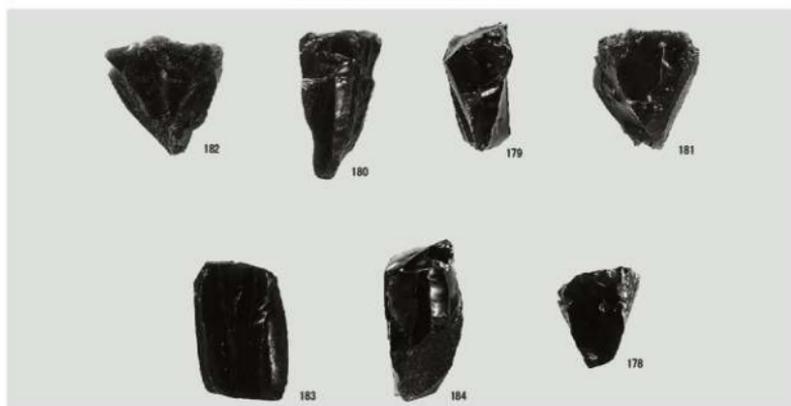


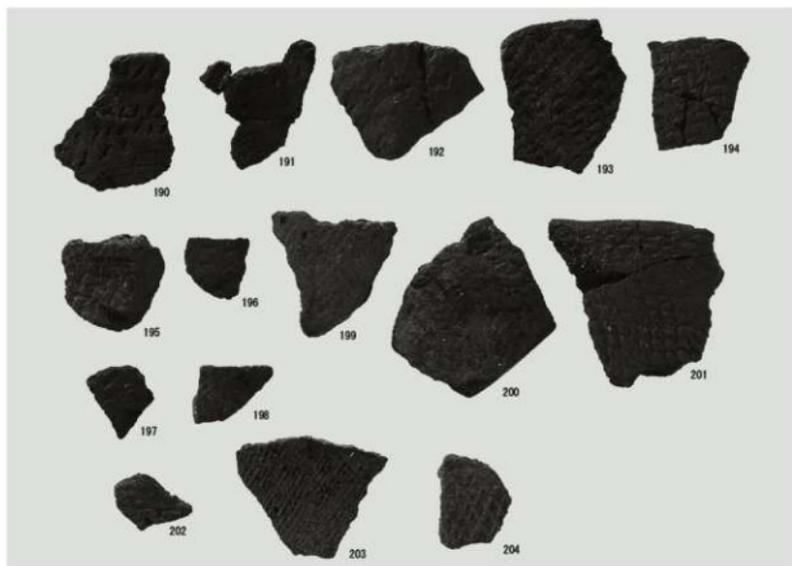
鎌沢遺跡 旧石器（休場層）細石刃



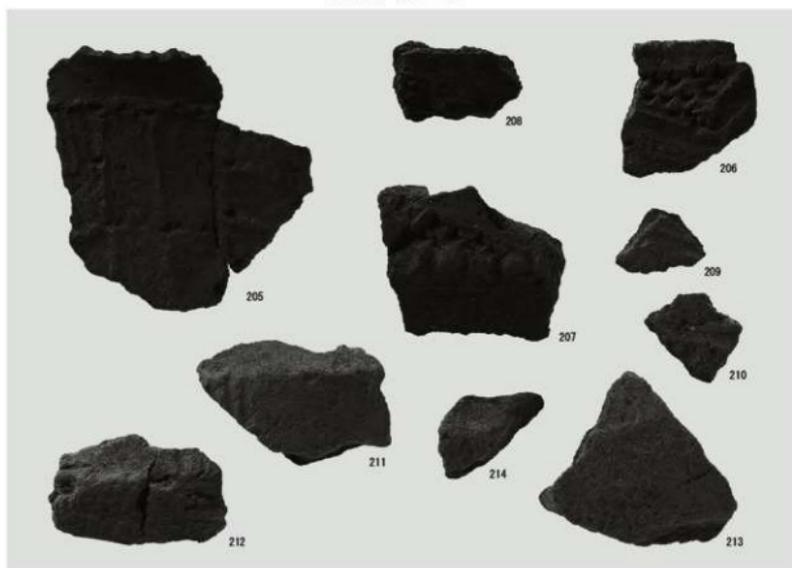
鎌沢遺跡 旧石器（休場層）細石刃核



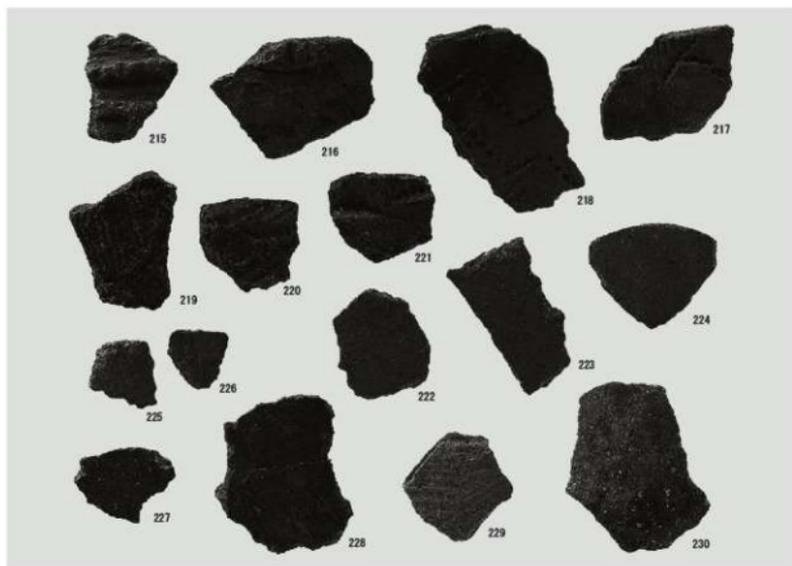
鎌沢遺跡 旧石器（休場層）稜付剥片



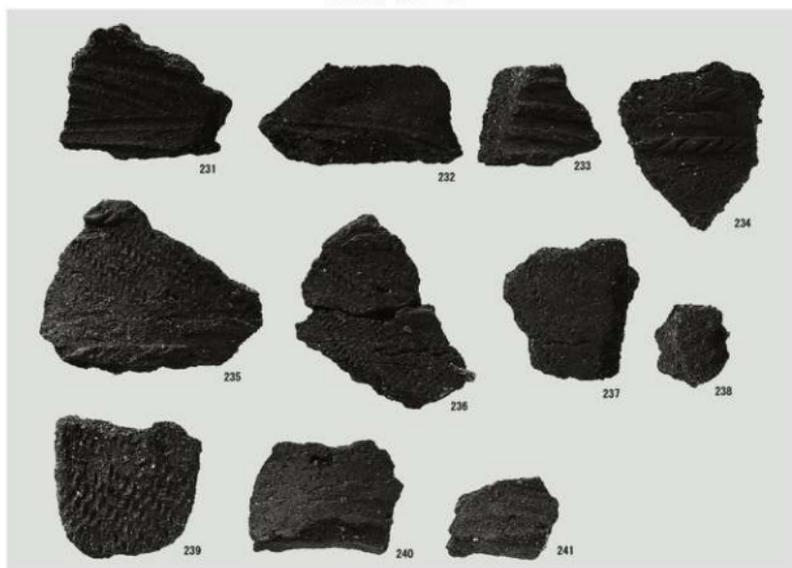
鎌沢遺跡 縄文 土器 1



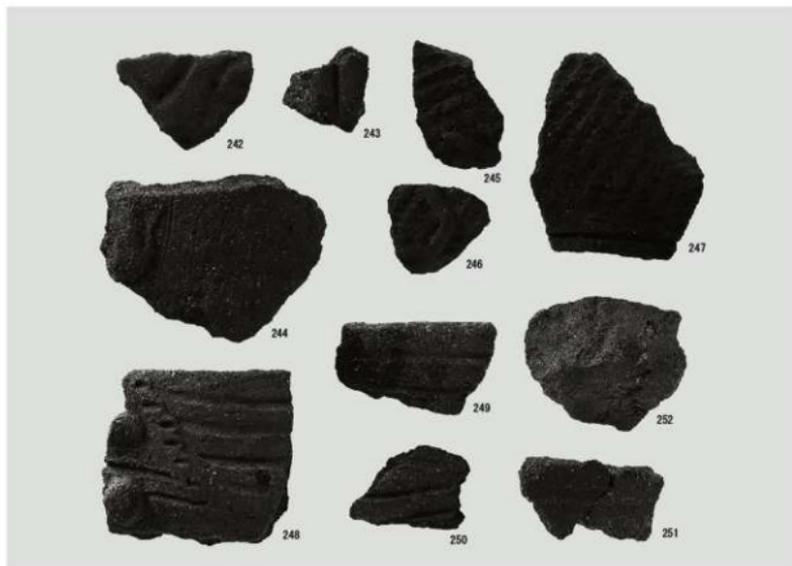
鎌沢遺跡 縄文 土器 2



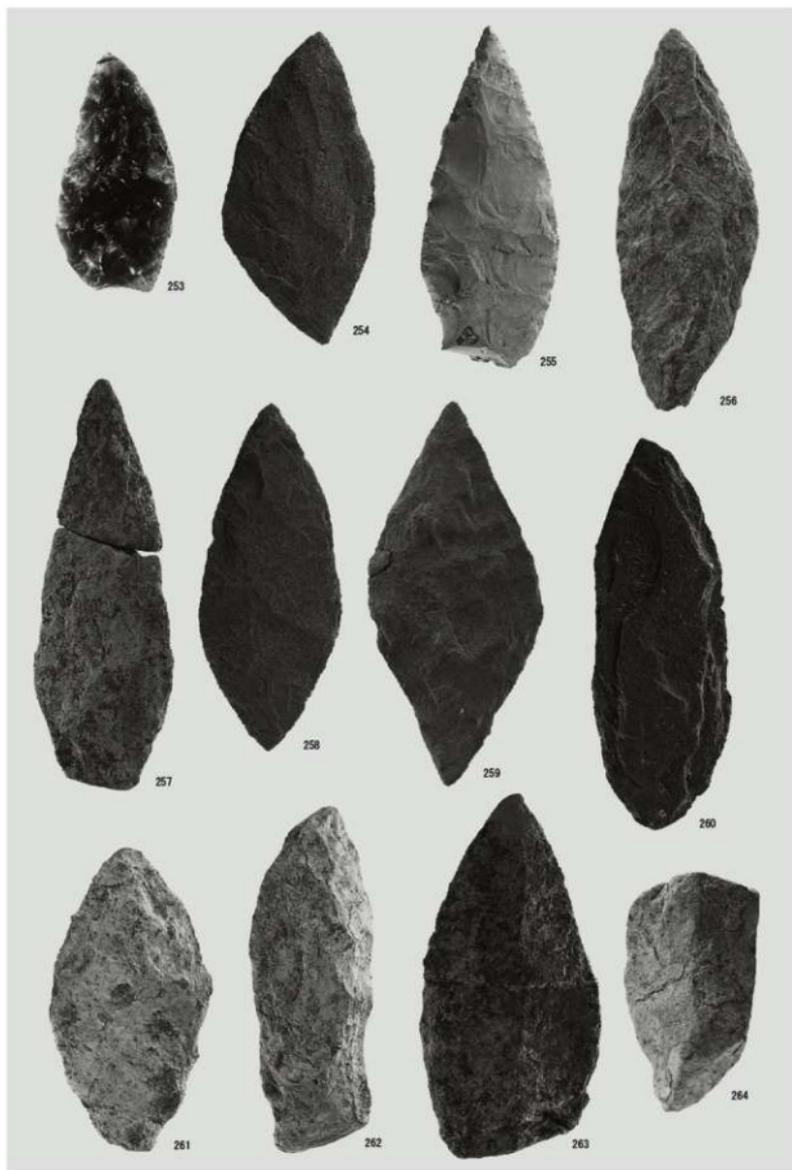
縄沢遺跡 縄文 土器 3



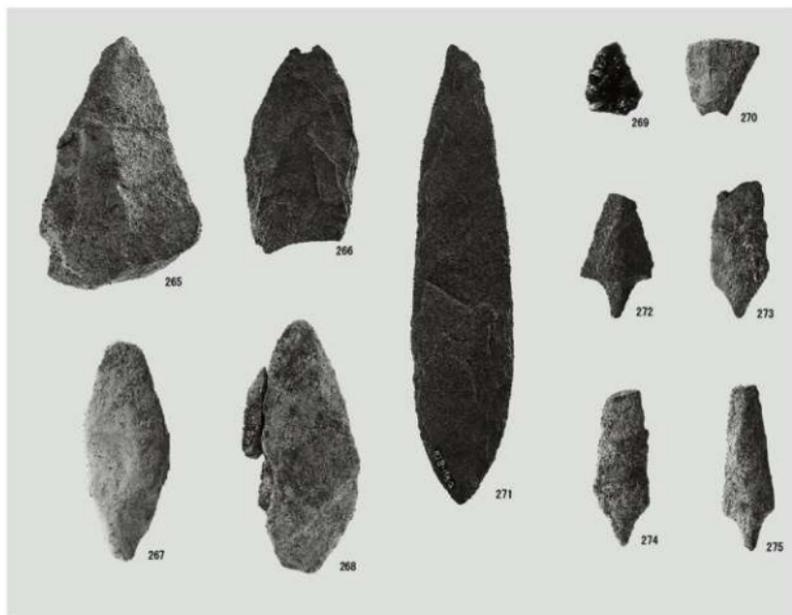
縄沢遺跡 縄文 土器 4



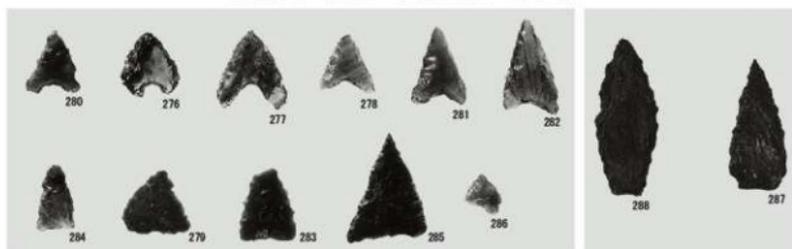
縄文遺跡 縄文 土器 5



鎌沢遺跡 縄文 尖頭器 1



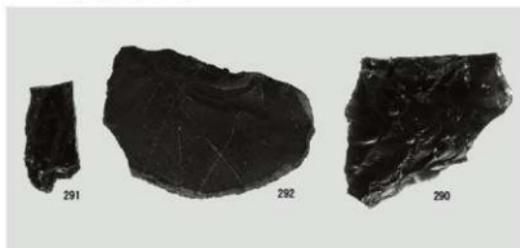
鎌沢遺跡 縄文 尖頭器 2・尖頭器未製品・有舌尖頭器



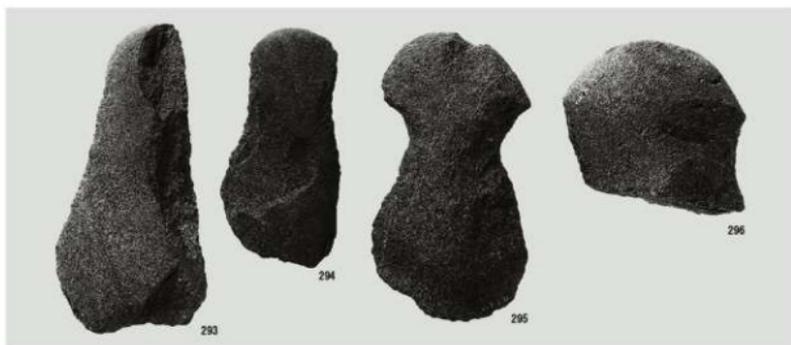
鎌沢遺跡 縄文 石鏃



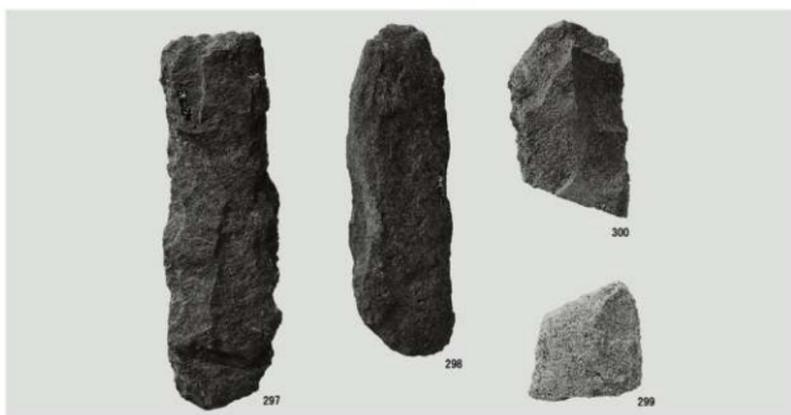
鎌沢遺跡 縄文 石匙



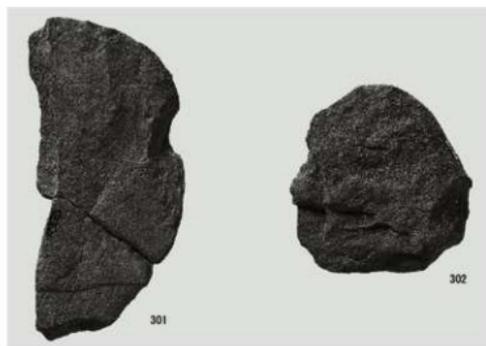
鎌沢遺跡 縄文 スクレイバー



鎌沢遺跡 縄文 打製石斧 1



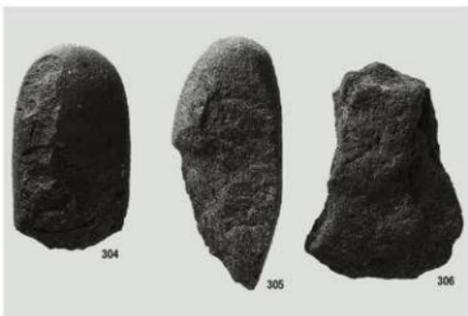
鎌沢遺跡 縄文 打製石斧 2



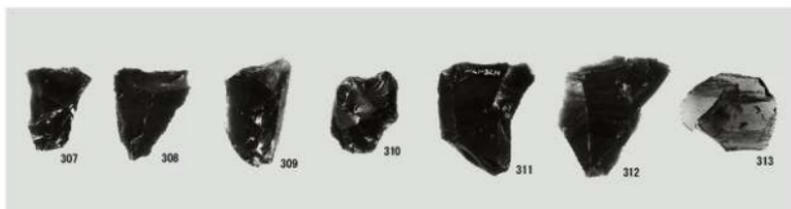
鎌沢遺跡 縄文 打製石斧 3



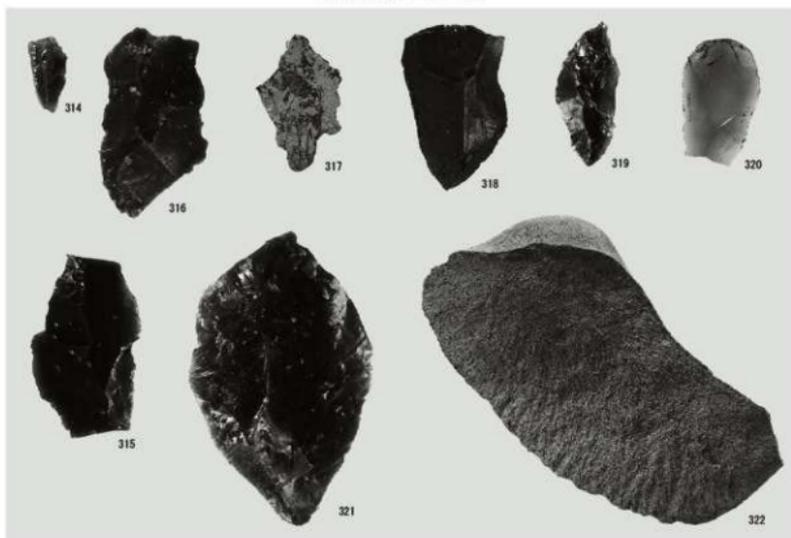
鎌沢遺跡 縄文 石槌



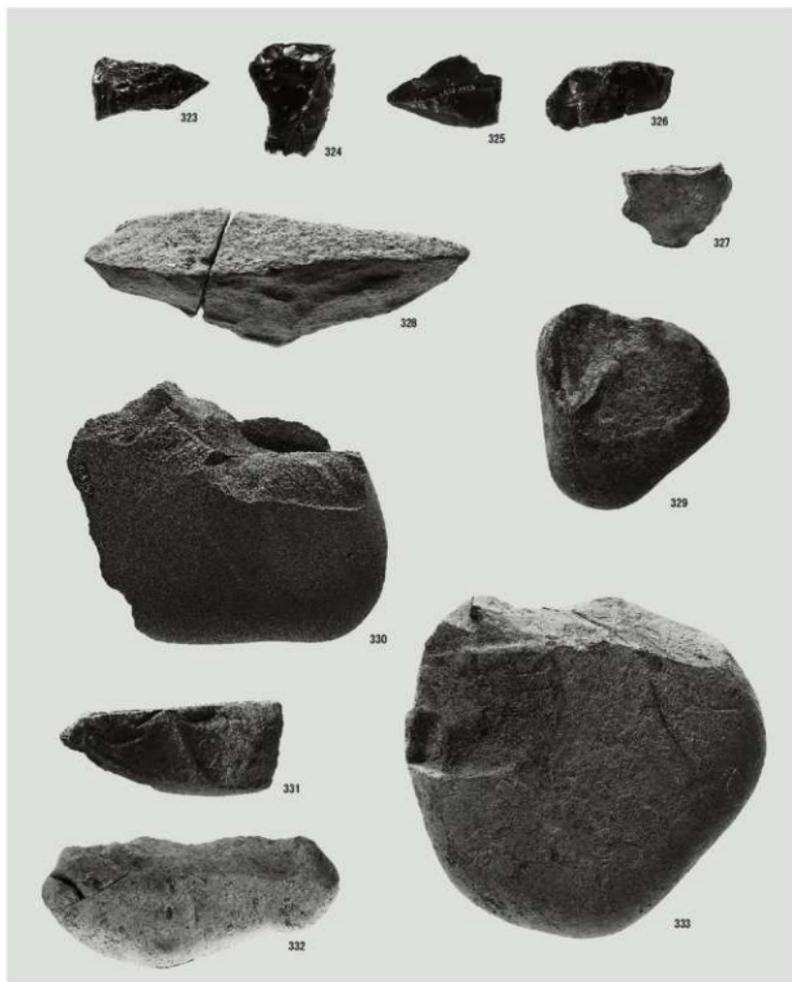
鎌沢遺跡 縄文 礮器



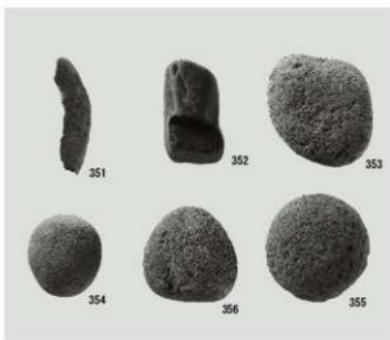
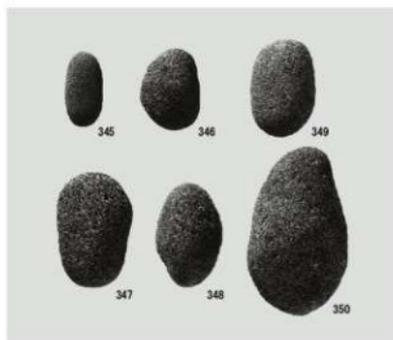
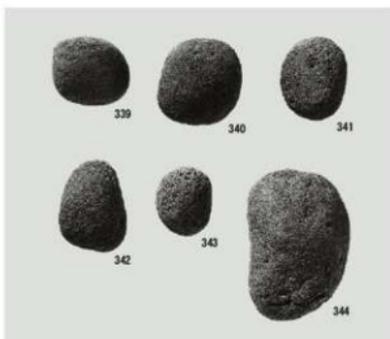
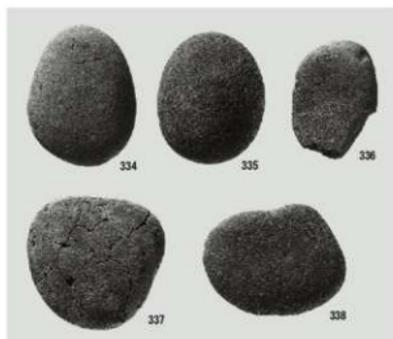
鎌沢遺跡 縄文 楔形石器



鎌沢遺跡 縄文 二次加工剥片・使用痕剥片



鎌沢遺跡 縄文 石核



鎌沢遺跡 縄文 敲石・磨敲石



鎌沢遺跡 縄文 石皿・台石



銭神遺跡 全景（南から愛高山をのぞむ）



銭神遺跡 全景（東から）



銭神遺跡 下層調査テストピット完掘（南東から）



銭神遺跡 下層調査テストピット完掘（南から）



銭神道跡 縄文面全景 (南から)



銭神道跡 弥生以降面全景 (南から)

図版 38



銭神遺跡 縄文 土坑 7 (東から)



銭神遺跡 縄文 土坑 8 (東から)



銭神遺跡 縄文 土坑 9・15 (南東から)

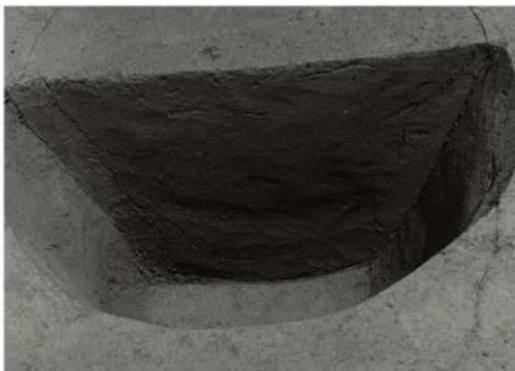
銭神遺跡 縄文 土坑10・13 (南から)



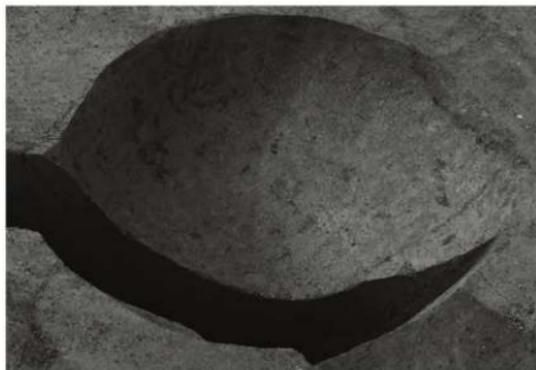
銭神遺跡 縄文 土坑10完掘 (南から)



銭神遺跡 縄文 土坑10半截 (南西から)



図版 40



銭神遺跡 縄文 土坑11 (南から)



銭神遺跡 縄文 土坑12 (南東から)



銭神遺跡 縄文 土坑13 (南から)



銭神遺跡 縄文 土坑14 (北西から)



銭神遺跡 縄文  
土坑4 検出状況 (南西から)



銭神遺跡 縄文  
土坑12・SX05 (南東から)



銭神遺跡 縄文  
打製石斧製作跡（南西から）



銭神遺跡 縄文  
谷部北 遺物出土状況（西から）



銭神遺跡 縄文  
浅鉢出土状況（北から）

錢神遺跡 弥生以降  
土坑 1・2 完掘 (南から)

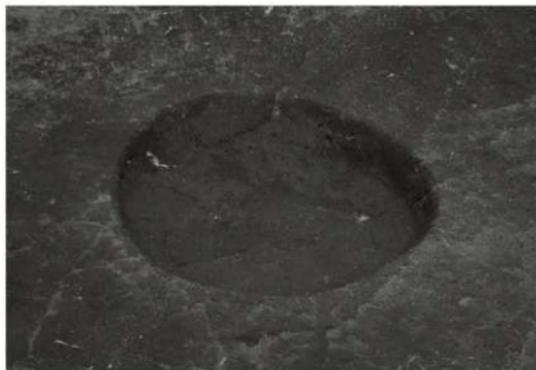


錢神遺跡 弥生以降  
土坑 1 完掘 (東から)



錢神遺跡 弥生以降  
土坑 2 完掘 (東から)





銭神遺跡 弥生以降  
土坑 3 完掘 (東から)



銭神遺跡 弥生以降  
土坑 4・5 完掘 (南西から)



銭神遺跡 弥生以降  
土坑 6 完掘 (南東から)

銭神遺跡 弥生以降  
焼土 1 横出状況(西から)



銭神遺跡 弥生以降  
焼土 2 横出状況(東から)



銭神遺跡 弥生以降 焼土 3 (西から)



図版 46



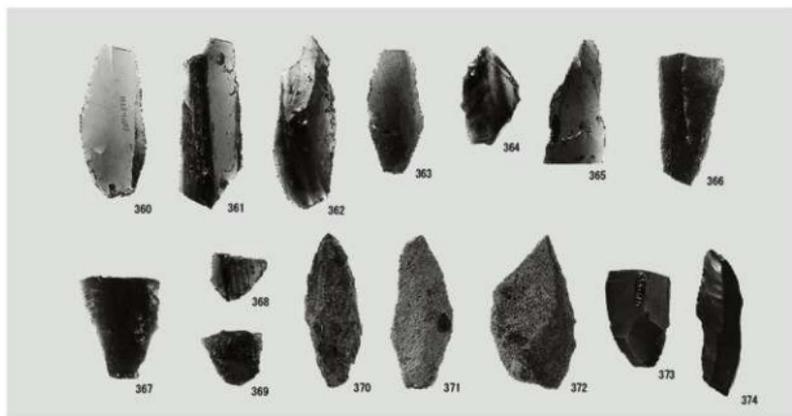
銭神遺跡 弥生以降  
溝状遺構 1・2・3 完掘状況(南から)



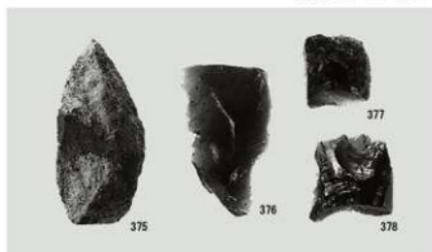
銭神遺跡 弥生以降  
溝状遺構 1 完掘(南から)



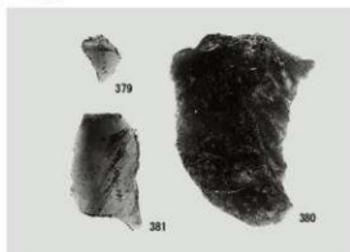
銭神遺跡 弥生以降  
SX02 完掘(東から)



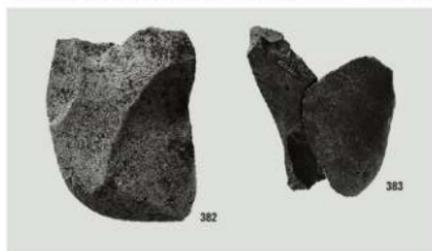
銭神遺跡 旧石器 ナイフ形石器



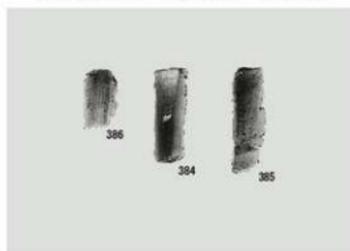
銭神遺跡 旧石器 角錐状石器・ノッチドスクレイパー・楔形石器



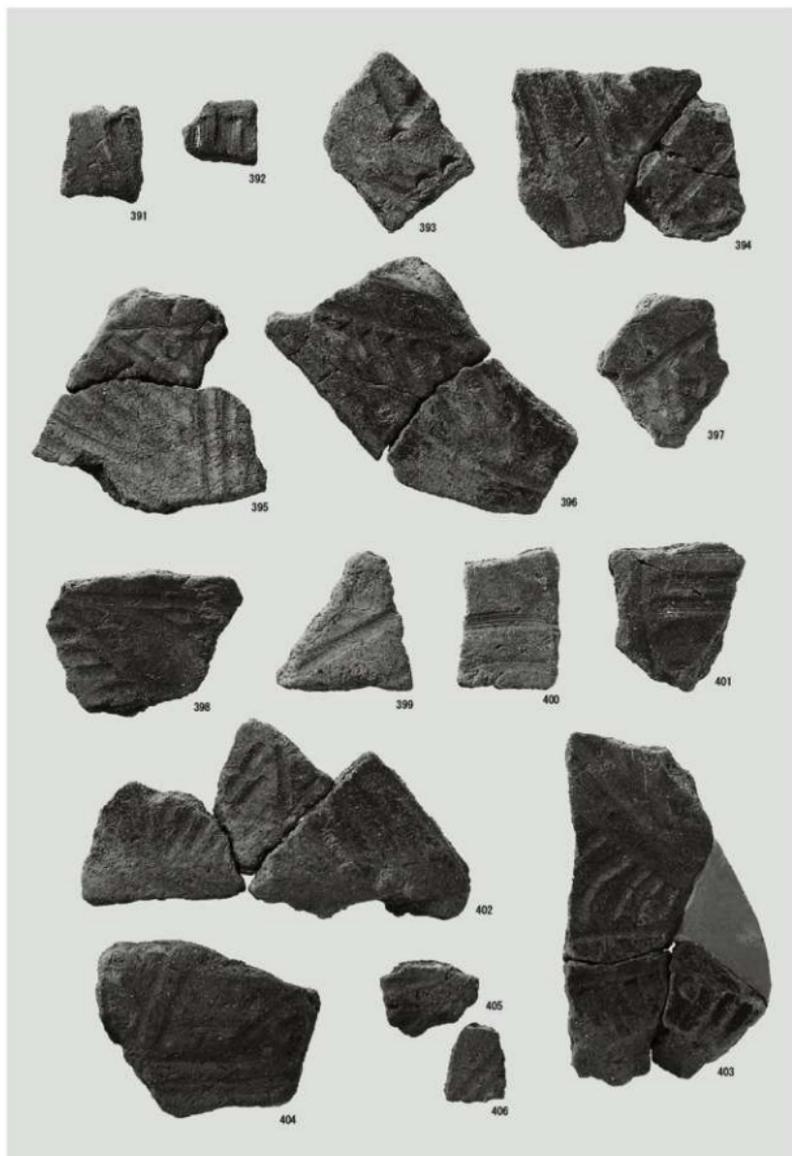
銭神遺跡 旧石器 二次加工剥片・使用痕剥片



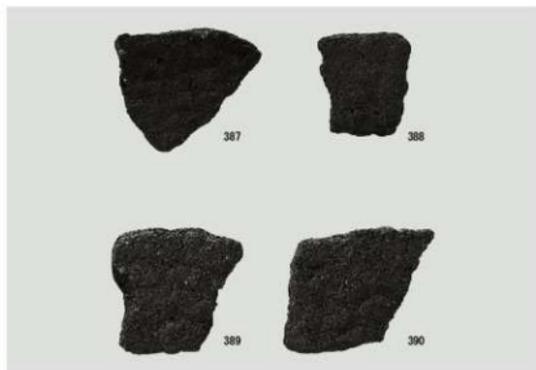
銭神遺跡 旧石器 石核・石核との接合資料



銭神遺跡 旧石器 細石刃



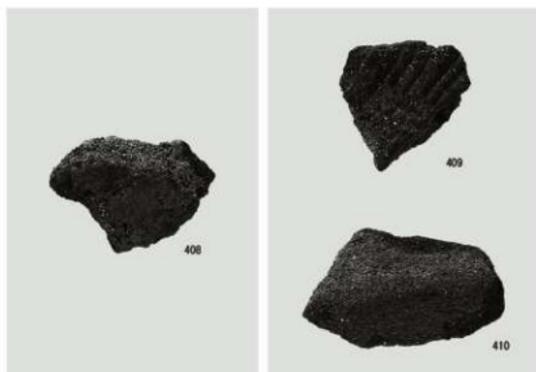
錢神遺跡 縄文 土器 1 (野島式)



銭神遺跡 縄文 土器 2 (押型文)



銭神遺跡 縄文 土器 3 (木島式)



銭神遺跡 縄文 土器 5 (前期東海系)

銭神遺跡 縄文 土器 6 (中期)



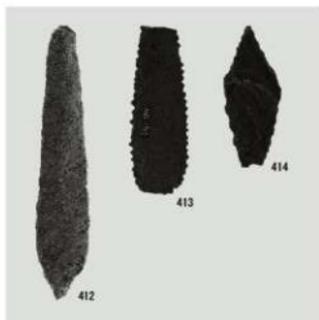
411 銭神遺跡 縄文 土器7-1  
(諸磯b式 有孔土器)



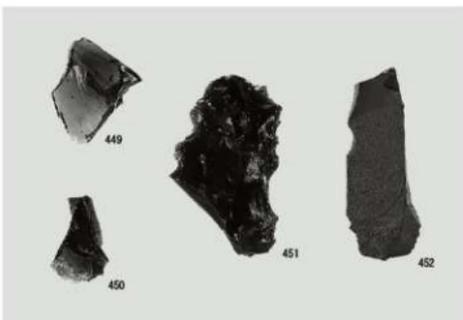
411 銭神遺跡 縄文 土器7-2  
(諸磯b式 有孔土器) 側面



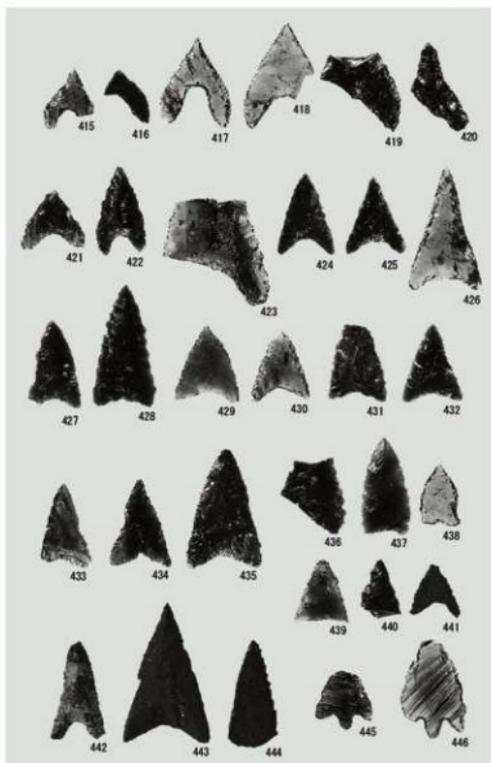
411 銭神遺跡 縄文 土器7-3  
(諸磯b式 有孔土器) 底部



錢神遺跡 縄文 有舌尖頭器・尖頭器



錢神遺跡 縄文 スクレイパー・ノッチドスクレイパー



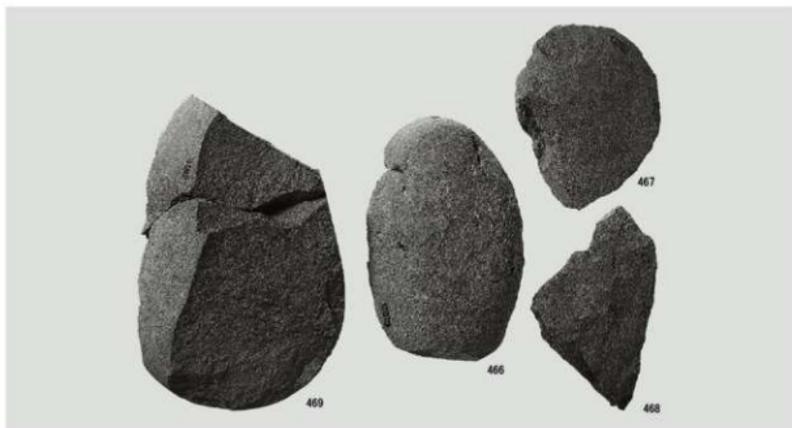
錢神遺跡 縄文 石鏃



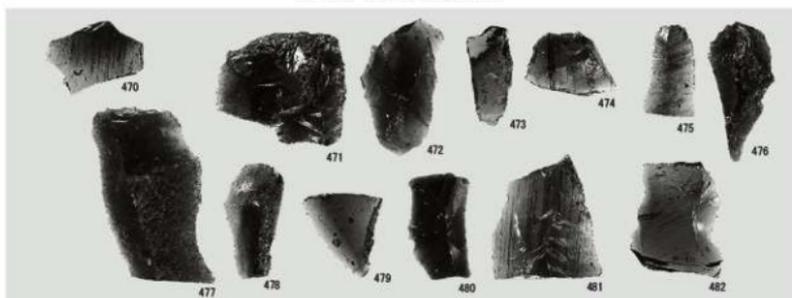
錢神遺跡 縄文 石匙



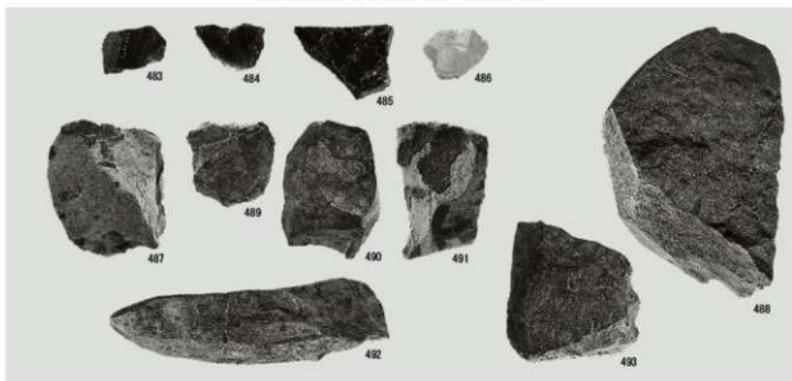
錢神遺跡 縄文 打製石斧



錢神遺跡 縄文 打製石斧未製品



錢神遺跡 縄文 二次加工剥片・使用痕剥片



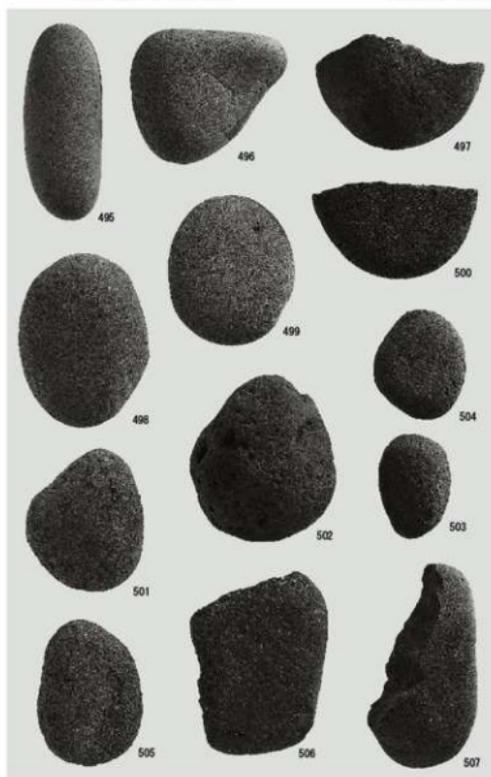
錢神遺跡 縄文 石核



銭神遺跡 縄文 接合資料



銭神遺跡 縄文 礮器



銭神遺跡 縄文 磨石・敲石



509



510



511

銭神遺跡 縄文 石皿・台石

# 報告書抄録

ふりがな	かまごいせき・ぜにがみいせき だいにとうめいなんばんーにじゅうはち・にじゅうきゅうちてん							
書名	鎌沢遺跡・銭神遺跡 第二東区No.28・29地点							
副書名	第二東区建設事業に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書							
シリーズ名	静岡県埋蔵文化財センター調査報告							
シリーズ番号	第10集							
編著者名	岩本貴							
編集機関	静岡県埋蔵文化財センター							
所在地	〒422-8002 静岡県静岡市駿河区谷田23番20号 TEL. 054-262-4261(代)							
発行年月日	西暦 2012年3月26日							
ふりがな 所収遺跡名	ふりがな 所在地	コード		北緯	東経	発掘期間	発掘面積 ㎡	発掘原因
		市町	遺跡 番号					
鎌沢遺跡	静岡県沼津市根古屋 字鎌沢998-19外	22203		35°09'16"	138°48'15"	19990203 ～ 20030331	8745㎡	記録保存調査
銭神遺跡	静岡県沼津市井出 字銭神	22203		35°09'11"	138°48'02"	20000921 ～ 20100618	1771㎡	
所収遺跡名	種別	主な時代		主な遺構		主な遺物	特記事項	
鎌沢遺跡	散布地	旧石器		石器ブロック、礫群、土坑		ナイフ形石器、 尖頭器、角錐状 石器、細石器、 石核		
		縄文		土坑、集石		土器、尖頭器、 石鏃、打製石斧、 石核		
銭神遺跡	散布地	旧石器				ナイフ形石器		
		縄文		打製石斧製作跡、土坑、焼土		土器、尖頭器、 石鏃、打製石斧、 石核		
		弥生時代以降		土坑、溝				
要約	<p>鎌沢遺跡は旧石器時代～縄文時代を中心とした遺跡である。旧石器時代では第Ⅲ黒色帯、ニセローム層、休場層で遺構・遺物が検出された。第Ⅲ黒色帯検出の土坑及び石器ブロックは、近接して検出されている。土坑は陥凹状遺構とされるものと形態が一致する。石器ブロックはホルンフェルス及び珪質頁岩による石器製作が考えられ、珪質頁岩の石核及び剥片は10点以上が環合している。これまでの調査事例では土坑と石器ブロックが近接して検出されることが少なく、土坑の機能あるいは石器製作を含めた活動パターンを考える上で貴重なデータを提供することとなった。ニセローム層では小規模な礫群1基を検出したこととどまるが、休場層では石器ブロック2基及び礫群16基が検出され、ナイフ形石器、尖頭器、細石器等が多量出土しており、旧石器時代終末期の組成を示すと考えられる。ただし、層位の及び平面的に諸種の石器が混在しており、分別は困難であった。</p> <p>縄文時代では20点以上の尖頭器が検出され限られた調査範囲の中では充実した出土量を誇っている。縄文土器は早期後半の条痕文系が主体となるが、草創期、後期といった必ずしも類例が多くない時期の資料を得ることができた。草創期に比定された土器は絡条体圧痕文を外面に施文するもので破片4点が確認された。</p> <p>以上の成果により、多少の空白期を持ちながらも旧石器～縄文時代にかけて小規模な尾根での活動の一端を知ることができた。銭神遺跡は、旧石器時代～縄文時代及び弥生時代以降を中心とした遺跡である。谷部に位置しており、出土遺物は谷底部に集中して検出されている。旧石器時代では休場層からナイフ形石器、細石器等が検出される程度であり、明確な遺構は未確認である。</p> <p>縄文時代では早期後半～前半の土器及び、尖頭器、石鏃、石斧、石斧未製品等が出土している。尖頭器は草創期に比定されると考えられるが、その他の石器は土器の編年観から早期後半～前半を主体とすると判断される。他方、打製石斧製作跡が1基検出され、石斧未製品及び剥片、台石、敲石等が一定範囲に集中して検出された。各部の土地利用を考える上で参考となる事例となった。</p> <p>弥生時代以降では溝、土坑が検出された。時期は不明瞭であるが、谷底部やや上位において谷筋に平行した溝及び土坑が検出されている。</p>							

静岡県埋蔵文化財センター調査報告 第10集

## 鎌沢遺跡・銭神遺跡

第二東名No.28・29地点

沼津市-10

第二東名建設事業に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書

平成24年3月26日 発行

編集・発行 静岡県埋蔵文化財センター  
〒422-8002 静岡県静岡市駿河区谷田23-20  
TEL 054-262-4261(代)  
FAX 054-262-4266

印刷所 みどり美術印刷株式会社  
〒410-0058 沼津市沼北町2丁目16番19号  
TEL 055-921-1839(代)